

提案

日付：2023/06/05

件名：健康管理センター補修あるいは代替建物の確保

1. 問題、課題

私は、少なくとも、月に3回は健康管理センターを利用していますが、雨の日（あるいはその後）館内各所に雨漏りが発生している状況です。

立派な町の公的な建物がこのような有様に、いつも大変惨めな気持ちになります。

館の管理者からも報告・依頼がされているとは思いますが、緊急な補修が必要な状態であると思います。

2. 改善案

建屋の築年数は存じませんが、1981年の新耐震基準施行以前のものか、以降のものかにより耐震補強工事の要否が分かりますが（今まで耐震補強工事を行われなかったのを見ると、1981年以降の建物か）少なくとも補修の予算化と補修工事の実行をお願いします。（十数年毎に計画修繕を実施しておれば費用の抑制可能でしょうが残念です）

おそらく部分的な雨漏りについては、雨水の侵入箇所の特定がむずかしいと思いますが、今からでも屋上防水工事と外壁補修工事の実施により大部分は治まるものと思われます。

3. 改善後の効果

大規模改修工事、新築工事、プレパブでの存続等の健康管理センター業務存続のトレードオフを行い、どの方法になるかですが、耐震補強工事不要であれば改修工事の実施が費用的にも有効であると思われます。

是非、第一歩を踏み出して頂きたいと思います。

回答

<健康管理センター補修あるいは代替建物の確保> 【所管：健康づくり課、財産管理課】

○健康管理センターの建設時期等について

旧館部分と新館部分に分かれており、旧館部分は1981年、新館部分は1990年に建設されています。旧館に関しては旧耐震基準ですが、平成29年度に耐震診断を実施し「耐震補強工事は必要ない」との診断を受けています。

○雨漏り等、老朽化の現状について

雨漏りについては、雨量や風向き等によって発生する場所が異なるようですが多数の箇所で発生しています。1階の予防接種室や多目的ホール、階段の入り口や踊り場の壁面、2階の会議室など、また、最近では社会福祉協議会の事務室内でも発生してしまいました。

雨漏りのほか、床面の凹凸や空調機の不調、エレベーター補修部品の確保が困難となるなど施設全体の老朽化が進んでおり、その対策は待てない状況であることは理解しております。

○老朽化への対応・施設機能の更新にあたる方針について

平成29年3月に策定した「公共施設等総合管理計画」や、その後の「公共施設再編計画」で、役場南側の用地を活用し健康管理センターのほか保健福祉分野の関連施設を集約した建物を新たに建設する計画がありました。雨漏り等の修繕に多額の費用をかけても改善する確証が得られないこともあり、集約施設の建設を目指しましたが、その後のコロナ禍による町の財政状況等に鑑みこの計画は白紙化された経緯があります。

当面、緊急性の高いものは随時、修繕を行うこととしていますが、現状の老朽化に対応するためには根本的な対策が必要であると考えております。

今年度、健康管理センターの対策を進めるにあたり寒川町総合計画で位置付けられた、さむかわ中央公園を周辺とした「にぎわい交流創出ゾーン」のエリアビジョンを策定したところでございます。

このゾーンは健康管理センターも含まれており、今後のエリア内での魅力創出に向け、「民間との連携」「魅力的なイベント」「公共施設の複合化・集約」といった3つのエリアイメージを提示しております。

現在、エリアイメージの実現に向けて様々な課題もありますが、一方では喫緊の課題であり早急な対応が求められるものとして「公共施設の複合化・集約」が挙げられており、その中には健康管理センターの老朽化問題もございます。

「にぎわい交流創出ゾーン」のエリアビジョンを基準に、民間の経営ノウハウや技術的能力を活用した公民連携による整備手法も視野に入れた中で、ご提案にもありました「プレハブでの存続等」も含め施設の在り方を検討し、早い時期にその対策について「一定の方向性」を示していきたいと考えております。